

経営比較分析表（令和5年度決算）

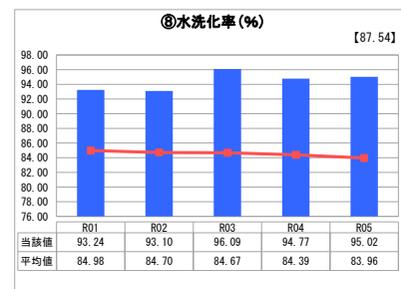
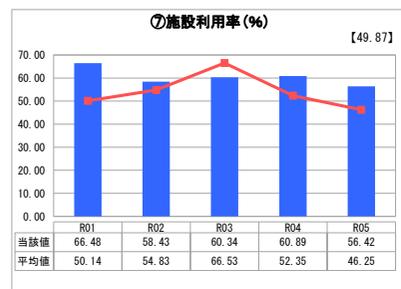
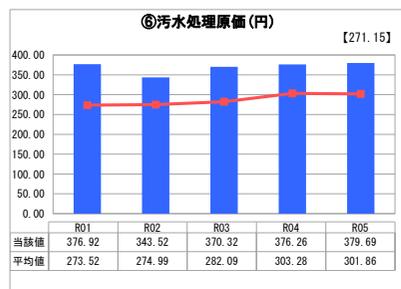
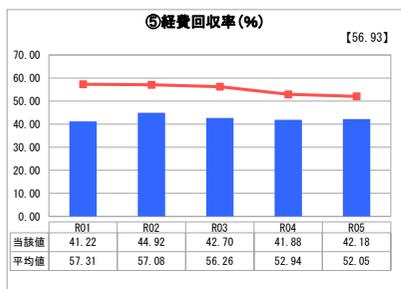
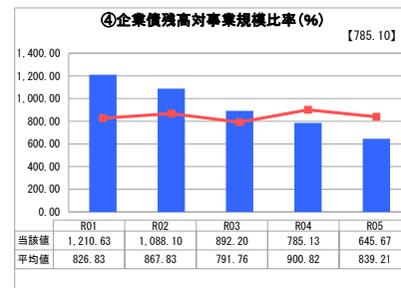
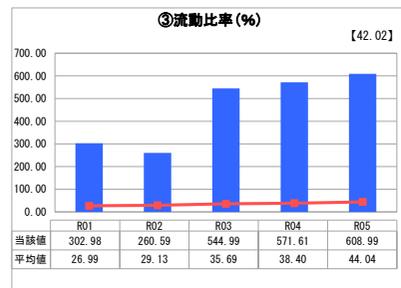
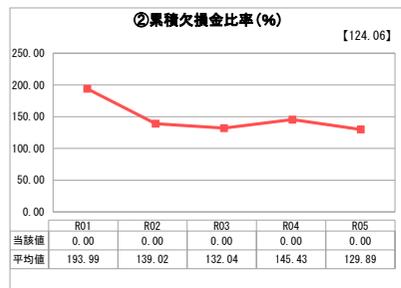
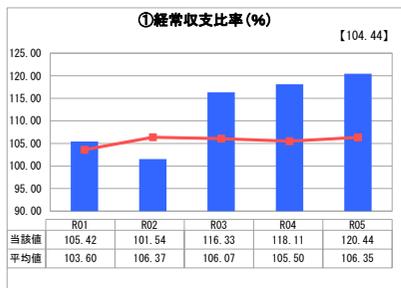
埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	91.91	0.55	98.45	2,761

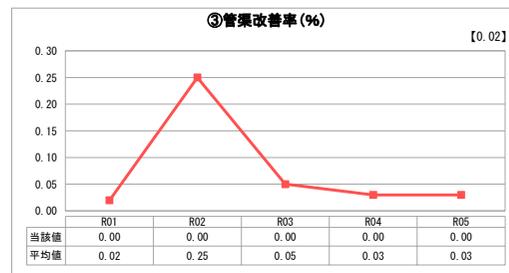
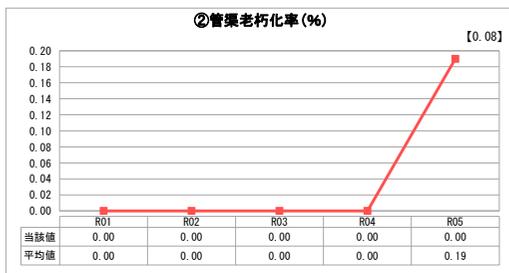
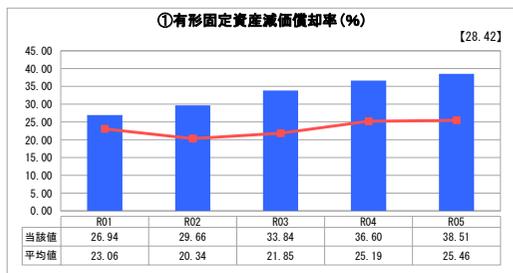
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
54,396	47.48	1,145.66
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
301	0.14	2,150.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①一般会計からの繰入金により収支不足を補填しているため、黒字となっています。
 ②累積欠損金は発生していませんが、一般会計からの繰入金で、収支不足を補填しています。
 ③指標値が100%を超えており、安定していると言えますが、一般会計からの繰入金に依存している状況です。
 ④施設整備は既に完了し、今後の新規投資はないことから、企業債の借入れは無く、企業債残高は減少し、当該指標も減少していく見込みです。しかし、使用料収入も減少が見込まれることから、今後、公共下水道事業への繰入を進め、事業の効率化を図ります。
 ⑤水洗化済人口が約300人と少ない区域であり、単独で汚水処理維持管理費等を賄うことが難しい区域です。今後、公共下水道事業への繰入を進め、事業の効率化を図ります。
 ⑥処理区域内の人口密度が低い地域に施設整備を行ったため、汚水処理費が高いうえに有収水量が少なく、指標値は高い数値となっています。
 ⑦決して高い施設利用率ではなく、経費回収率も低いため、下水道事業全体の施設利用率の適正化の観点から、公共下水道への繰入を進め、事業の効率化を図ります。
 ⑧水洗化率は95.02%と、比率は0.25ポイント微増しました。指標値は平均値と比較すると高い水準にあります。

2. 老朽化の状況について

①農業集落排水事業は、平成13年度の供用開始から20年以上が経過しています。令和5年度には工事が実施されなかったため、指標値が微増しています。
 ②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、今後予定されている管渠の更新を見据え、点検等を計画的に行います。
 ③今後発生する管渠の更新工事については、費用対効果を検証し、効率的に実施していく予定です。

全体総括

令和5年度末における農業集落排水事業の指標を見ると、経常収支が黒字であり、累積欠損金もなく、流動比率も100%以上あります。これは一般会計からの繰入金により収支不足の補填を行っているためです。農業集落排水事業は、処理区域内人口密度が低い地域において施設整備を行っているため、汚水処理原価は割高になっています。今後の経営は更に厳しくなる見込みであることから、農業集落排水施設使用料の改定に着手するとともに、処理費用の縮減のため、公共下水道への繰入を進め、事業の効率化を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。